

平成27年度尚志館高等学校自己評価表

教育基本方針	校訓『不屈不撓』の精神をバックボーンに、各自の資質を高め、国や社会に貢献できる人間を育成する
教育目標	志を常に高く持ち、多様化する時代に即応した教育、変化する社会の要請に応える教育、知・徳・体の調和のとれた教育により、生きる力を身につけ、国や社会に貢献できる人間を育成する
努力目標	①学習指導を徹底し、学力の向上を図る ②生活指導を徹底する ③きめ細かな進路指導の徹底により、学力・適性に 応じ進学・就職の実現を図る ④部活動の推進・強化

1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的効果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学校教育目標と経営方針	学校教育目標の具現化	教職員間の共通理解のもとに、教育目標の実現を図る	課題や生徒の実態をふまえた目標を設定し、具現化に努める	3.7	6学科それぞれの学習指導は当然のことであるが、挨拶や返事、容儀服装そして、皆勤などの人間力を養成するため、全職員が共通理解・共通実践のもとで努力している。しかし、コミュニケーション能力のない生徒が増えるなど、生徒の実態に即した指導が求められている。そのためにも、職員の幅広い研修と理解を深めていきたい。

2 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価

評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	総括	成果と課題
学級経営	学級目標の具現化	学級目標に沿った学級作りを行う	学校目標や学級の実態に応じた学級経営・ホームルーム活動を行う	3.7	各科や学年に応じて、基本的な生活習慣の確立や進路の達成のための工夫した学級経営がなされたが、不登校生や進路変更の生徒も出ており、成果は不十分であった。
教科指導	わかる授業展開と工夫改善	創意工夫された学習指導の実践	シラバスを作成し、学習目的や学習方法を生徒に説明する 効果的な授業を行うために教材研究や研修を深める	3.8	年々学力が低下している感がある。また、部活生の中には学習に対する意識の低い生徒も見られる。このような生徒達に学習意欲を持たすためには、より分かりやすく、ていねいな指導が求められている。 学力差があるため、教科によっては習熟度別の授業を行っているが、それでもクラス内の学力差が大きいため、さらに異なる教材を使うなどの工夫をしている。
特別活動	生徒会活動・学校行事の充実	生徒会活動の充実 学校行事の充実	生徒の自主性・自発性を促し、積極的に生徒会活動に参加させる 効果的な学校行事になるよう、常に見直しを行い、活動内容を工夫する	3.7	文化祭、芸術鑑賞、クラスマッチなど生徒会主体の行事は少ないが、年々自主的活動は高まってきている。今後は、もっとクラスとの連携も図れるようにしたい。 体育大会や文化祭など生徒は積極的に参加しており、生徒の自主性等もみられる。ただ体育大会のパフォーマンスなど行き過ぎもあったので、事前の十分な指導が必要である。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	尚志館生としての意識を持たせ、自信と誇りの持てる生徒を育成する	基本的な生活の確立を図る 交通ルールの遵守など、安全教育の徹底	3.6	朝の職員週番による登校指導等により、挨拶や容儀服装について指導の成果は上がりつつあるが、一方で女子生徒のスカート丈が短いなど、着崩しもあり職員が一丸となって指導していかなければならない。また、交通安全教育にも、もっと指導を徹底しなければならない。
進路指導	進学・就職指導の充実	系統的・計画的な進路指導の実践	進路実現のために、個別指導や進路相談・三者面談などを計画的に行う 生徒の能力や適性に合った進学・就職指導	3.9	二者面談等を適宜行い、情報収集やオープンキャンパスへの参加を促し、進路に対する意識向上に努めた。ただ、例年のことだが、学力的に進学は厳しいにもかかわらず努力もしないで、最後まで進学を希望する生徒がいる。これらの生徒の指導が課題である。
保健衛生	心と身体の健康に留意させ学習環境を整える	保健指導の徹底 体育指導の徹底 防火・防災訓練 環境衛生の整備	心と身体の健康を適切に管理する能力を育てる 運動技能を高め、体力向上を図る 防災についての意識の高揚を図る 学習にふさわしい環境を整える	3.6	体力不足・気力不足の生徒が多くなってきている。心身の健康を高め、健康管理をしっかりするよう継続した指導が必要である。安易に欠席しないよう指導するとともに、もっと保護者の理解・協力を得るようにしていきたい。新しい校舎の完成もあり、全体的に大事にしようという意識は高いものがあり、清掃の時間は熱心に取り組む生徒が多い。
広 報	広 報	定員確保のための広報活動の推進	入学案内・パンフレットの作成 中高連絡会・体験入学の実施 中学校訪問・学習塾訪問・説明会の実施 ホームページ・Eメールの管理 P T A・中学生の訪問受け入れ	3.8	少子化が顕著で、周囲の公立高校が定員割れする地域にありながら定員を上回る新入生を確保できたことは、日々の教育活動の成果と全職員で取り組んだ広報活動の結果である。体験入学や進学相談会などの活動も大事であるが、『日々これ生徒募集』ということを全職員が念頭において、地道に朝夕の教育活動に努力していくことが肝要である。
部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う	部活動への積極的な参加を奨励し、学習との両立を図る 活動を通して、コミュニケーション力を高め、たくましい人間に育てる	3.7	人間形成と競技力の向上そして学業との両立が、よくできた半面、部活に一生懸命なあまり学習が疎かな生徒も見られる。また、部活引退後の生活面の指導も必要となってきている。競技によっては、部員不足の部活もあり、部員確保に苦労しており、部活の見直しも必要となってきている。
評 価				3.7	

